

令和8年第1回町政報告会 質疑応答集

開催日：令和8年7月20日

Q	A
保育所再編について、①保育所再編はいつから検討していたのか？②保護者、入園前の親に再編の計画があるということを知らせたのはいつか？③0～2才児の入園児数は減少傾向だが、3つの保育所にして希望者全員が未就園児の保育サービスを受けることが可能か？④各年度で各園で20人下回っている所では合同保育がなされているというのは、なぜその数にしたのか？根拠があれば教えてほしい。 町民感謝デーについて、働くくるまの展示の参考の写真に自衛隊の車両があったが、今後日本の法律が変わり役割の変わるる自衛隊を、美浜町の行事に参加してもらうのはなぜか？	①昨年度10月の入所説明会での申し込み人数状況の結果を踏まえ、合同保育が必要という判断に至った。12月22日の保育所運営委員会にて再編検討後、1月29日に保護者に通知いたしました。②1月29日に説明会の開催を周知させて頂きました。③すべての保育所とは限らないが、受け入れは可能であると考えています。④法律等で決まっているものではなく、美浜町の独自の判断で20人以下としました。 町民感謝デーの自衛隊の紹介について、災害時に活躍していることのPRも大事なのではと考えています。ただし、いただいたような意見もあることは承知している。
今まであった図書館の一室をなくしていつまで展示の予定なのか？維持費には今後も榊原氏からのふるさと納税のお金を充てていくのか？	もともと展示スペースを学習室として使っていて、新たに展示室とした。学習室は別の会議室に設けて学習・お子様の部屋は確保しています。展示の整備は終了したので、今後整備にお金をかける予定はないが、必要な経費が出た場合は、榊原氏からの寄附を充てる。町としてはいつまでということではなく、長く展示していく予定。
①今後も重要な案件にアンケートをとる手法で町民とのコミュニケーションをとっていくのか、どのような形で町民とコミュニケーションをとったうえで意思決定をしていくのか？ ②中学校について、当面は2校体制を継続ということだが、議論のスタートは中学生の数が減っていることが根底にあったと思う。令和15年度に野間中学校は単学級になってしまうとのことだが、どのようなスケジュールで今後進めていくのか教えていただきたい。	①今後アンケートを必ずしもとるということは考えていない。丁寧に説明して皆様の意向を確認しながら町の方針を決めて、方針に向けて進めていくことが大前提。ただし、意向調査ではなく必要性を判断して町として進むべき道に進んでいく場合もある。 ②中学校再編は野間中学校が単学級になってしまう事を回避したいという事がスタート。令和13年度までに小学校を統合する作業があるので、まずはそちらを丁寧に進めていく。中学校については、令和15年には当事者に対し意向・意見や話し合い・打合せを進めていく必要があると思っている。
学校再編を当初町民に説いた時に、美浜らしい新しい教育をしていくんだ、小中一貫校は新しい教育ができるんだという説明を受けた。形は変わったが教育内容の方針はそれを受け継いでやっていくのかどうか？今からの5年後、10年後の経営方針の説明をお願いしたい。	小中一貫校の大きな柱として3つ挙げた。（①9年間を見通した教育②日本福祉大学との連携③同じ校舎の中で過ごすので憧れ、思いやり面の育成）③の同じ校舎の中でということは無理があると承知していますが、②の大学との連携は今も進めており、今年も主に教員同士の連携をしている。①の9年間を通した教育は、校舎は離れているが計画的に進めていけば出来ると思っている。今の小中学校連携で出来る事を少しずつ進めながら積み上げていこうと考えている。
保育所再編について、身近にある保育所を地域からなくしていくのは、預ける保護者としては非常に利便性が悪い。人口減少対策、若者定住の政策を町の政策の柱にしておられるならば、保育所とは若い親達働きやすい条件を作るところに、多くの願望があるんだという事を大事にした進め方をして頂きたい。そういう点での対応をもって来春2つの保育所を閉じるということを考えているか。	少人数保育を否定するわけではないが、正規の保育士をあてながら、子どもたちにもある程度の規模の中で友達を作って、年齢に合わせた保育をしていくということを考えた時に、今回の再編は必要であると考えた。保育所が遠くなってしまうということなので早朝保育でしっかり対応させて頂きながら、早朝保育にかかる経費についても何とか減免できないかを担当者が検討しています。
ある程度きちっと情報開示をして目標掲げて、それに邁進する姿を見たい。小中一貫校のことはともかくとして他のちょっとした問題も全然情報が入ってこない。もう少し真摯に情報伝達すればこういう事もスムーズに進められるのではないか？もう少し夢や希望を与える町政をお願いしたい。	情報が届かないという事に行政としては反省すべきところであり今後考えていきたい。特に小中一貫校については大学との関係もあり公開できない部分があり、議会からも皆様からももっと情報をという話があった。今後はより丁寧に説明をしていくよう努める。 夢を語るということについて、今、希望のある事業を進めている。8月のお盆頃には明るい話題を1つお届けできる予定。美浜町は今、官民連携という事を進めていて、小野浦地区において民間の力を使って整備していこうという話を進めています。美浜町に新たな産業あるいは税収を呼び込むような政策を準備しております。
保育士の確保に苦労しているという話があったが、日本中でそうっており、そのことを町だけでやろうと思うのは無理がある。そんな中で、なり手が減っている。確保をしようと思っているなら、給料を上げてほしい。自治体として、給料を上げるように国に強く要望してほしい。	しっかりと承りました。
①学校再編全般について。小中一貫校を本当に断念するわけではないと思うが、今後の見通しはどうなっているのか。 ②小学校について。東西1校ずつに統合する。100年以上の伝統が残っている学校があるため、簡単に閉校するのは難しいと思う。残すもの、整備するものをきちっと始末をしていくことが重要だと思う。 ③中学校について。当面2校という事であったが、令和15年度には単学級になることがわかっている。場所の問題、統廃合の進め方の問題等もあるが、この点についても並行して継続的に取り組んでいただきたい。	①目指すべき姿は小中一貫校で間違いない。今回は建設費の関係、意向調査の結果もあり、見送る方向にした。今、いつ中学校を統合するかということは申し上げることはできないが、令和15年に単学級の学年が出てきてしまう。河和中学校でも令和15年から数年後には単学級になる見込み。こうした保護者の方々、地域の方々にこの問題についてどうしていくかををご意向・ご意見を伺いながら進めていきたい。 ②東西1校にするという事について、伝統のある学校を閉じるということは大変な事。すでに河和南部小学校を閉じて河和小学校に統合するという経験があるので、その経験を活かしながら丁寧に進めたいと考えている。何を残していくかということについて、地域の方、保護者の方、先生方と相談をしながら整理をしていく必要がある。新たな学校に、展示スペースのようなものを設けて開設出来たらと考えている。 ③小学校を残していく作業、新たに校歌を考える作業というものは非常に大きな事務量になってくる。これらを中学校と同時に進めることは大変なことであるため、まずは小学校の統合を丁寧に進めていきたい。当然、中学校の方もしっかりと考えていくが、令和15年ということを頭に入れつつ、皆様方と話を進めていきたいと考えている。

保育園の子どもへの教育の仕方を、町長、教育長、教育部長がどう考えているのか。ただ園児が少なくなったから統廃合なのか、考えあつての統廃合なのか。保育園の子どもの成績はどうなるのか。そして、地域とのつながり。小さい子どもたちのコミュニティとして、保育園に行ってよかったと思える教育を町で考えているのか。保育園での教育が、今後人口増加の1つの起点になると考えている。町が今の考え方をしていると、人口が減って、今以上に苦しい状況になると思う。	今回の保育所再編にあたっては、充実した保育を提供したいという思いがある。3・4・5歳の、1年間での成長が非常に大きいと思われる時期に、複数の年数の子どもを一度に見るのではなく、学年にあった保育をしていきたい。今回の再編によって、適正な数の子どもの中で保育をさせてあげたいと考えている。 人口減少について、子育て世代に対する支援というのも必要になっているが、より大きな問題としては、晩婚化等のいわゆる結婚をしない選択が増えてきている。（そういう選択も尊重はされるべきだと思っているが。）子どもの数が減っている中で、皆さんに満足していただける、幸せを感じられるような施策を同時に考えていかなければいけない。 河和南部地区のコミュニティについて、つながりが薄くなっているという認識はない。お祭り等の行事では、地域一丸となって活動し、盛り上げていただいており、コミュニティを残している。非常につながりの濃い地域だと思っている。 （教育長）保育所での教育が専門ではないため、小中学校に勤めた経験から思っていることをお話をさせていただく。保育の中で、子どもたちが年齢によって、ひとり遊びから始まり、集団での遊びをするようになる。保育の中で、集団・友だちと仲良く生活していくという基礎・基盤が培われていくと思っている。そうした力を培ったうえで学校での学習というステップに進んでいくと思っている。保育所での教育の適切なものについてはわからないが、そのように考えている。
奥田の運動公園について、近年の健康志向の中で、年寄りの人が使いやすいトレーニング機器は管理・導入されているのか。 （半田の陸上競技場に勤めていた際には、見たことがなかったため。）	（町長）運動公園は整備途中であるが、高齢者の方でも使える健康遊具は整備しているところ。トレーニングジムのような機器ではなく、誰でも使えて、健康になっていただけるような機器を整備していく。遊歩道も整備しているところ。こういった機器が欲しいといった要望があれば、検討したいと考えている。 （教育部長）運動公園には、現状トレーニング器具は設置していない。
①学校再編について、具体的にこれからどうするのかを気になった。具体的な移行に向けての計画・中身（具体的に令和9年度までには～をして～が決まるとか）どんなタイミングで、どういった形で説明をしていただけるのか。 ②中学校について、単学級は相当なリスクである。（いわゆる友だち問題）そうした場面ですでにどうするかの検討を進めていただきたい。 ③人数が少ない中での保育は非常にさみしさもあるので、保育所再編をすぐやるとなると、進めていただいているのは非常にいいことだと思う。子育て環境が手厚くなれば、子どもを持ちたいと思う家庭が増えるのではないかな。 ④町民感謝デーについて、奥田小学校の運動会と被っている。ビーチランド等との調整もあったため、仕方ないところもあると思うが、そこを避けることはできなかったのでしょうか。	（町長） ①学校再編の説明会については、しっかり丁寧に行っていくようにする。 ②単学級のリスクは、学校再編の説明会の中でも説明してきたので十分理解している。意向調査で、「単学級になってもいいので、東西1校ずつがいい」と考えている方が多かったのも事実。一方で、中学校では競い合う環境が必要であるということを当時の教育長が話していた。したがって、対象になる方々も含めて話し合いをしていく必要があると思っている。 ③保育所の質を高めていくというところで、「統合されてしまったけど、保育の質が良くなった」と思っていたるように担当でも準備・検討をしている。 ④町民感謝デーについて、申し訳なく思っている。地元の奥田小学校の運動会と重なってしまったことは大変申し訳なく思っている。最近は、運動会が午前中で終わると聞いているので、終わったその足で、楽しんでいただければと思っている。 （学校教育課長） ①学校再編のスケジュールについて、小学校については令和13年度までに東西それぞれ1校ずつに統合をする。今年度、いつ何をやるのかを明確にした「小中学校再編実施計画」の見直し・改訂の予定。小学校は少子化の問題と同時に、校舎の老朽化の問題も抱えている。河和小学校、上野間小学校については、建物の現況調査を行い、校舎を整備していく計画を立てていく。保護者や校長先生、地域住民の代表者等で組織された検討委員会も設けて、しっかり準備していきたいと考えている。必要な時に必要なタイミングで保護者には説明を行っていく。
①中学校の再編について、「小中学校再編実施計画」の見直しの中で、中学校は小学校の後で、令和15年度に間に合うようなスケジュールになっていくのかをお聞きたい。 ②町民とのコミュニケーションがちゃんと取れているかについて、小中学校の再編の検討が始まったスタートのところで保護者の方に聞いたところ、「単学級になったとしても、東西1校ずつ残す」というところまではわからなかった（意向調査を始めた時点でも）と言っていた。この意向調査の結果は、町民の意見が正しく反映されているのか疑問に思っている。もっと早い段階で保護者や子育て世代の方々と正しくコミュニケーションをとっていただき、進めていくことが大切なのではないかな。 ③3連休最終日の今日の報告会では、午前中はもう少し多かったが、本来は正しく情報を伝えたい子育て世代の方やメイン世代の方の関係の方が非常に少ない。言ったとしても伝わらなければいけない。なるべく情報が伝わるようにしていただきたい。	①中学校の学校再編のスケジュールは令和15年までに決まっているのかという質問については、まだ決まっていない。私も含めた教育委員と探求する中で、今の段階で令和15年までということではなくしっかり話をしていこうというようにしている。 ②意向調査において、皆さまの大きな判断材料が「小学校・中学校をすべて河和にもっていくのか、それとも東西に残すのか」というところできくと、「中学校が一つになるということについて、なぜなら～」については正しく反映されていないということは否めないところもある。○年度までに必ずこうするという形で示すということは今の段階では申し上げることができない。 ③コミュニケーションが大事だということについて、これまで小中一貫校の説明をしていた時も、子育て世代は少なかった。したがって私どもが出向いて説明することも検討している。こうしたことに限らず、色々なことをいかに住民の方々に知っていただくのか、関心を持っていただくのか、改めて考えていかなければならないということを実感した。
運動公園ののまっキー遊具について、オープンを楽しみにしていたが、雨が降るとぬまっキーになってしまっている。遊具広場の計画の段階で何とかできなかったのか。 今年も花火まつりがあるということで、何かしらの住民が集まるイベントや機会の中で生まれた交流から、町政報告会への参加につなげられないか。ただ花火を打ち上げるのではなく、そういうことも作戦として考えてもらいたい。	のまっキー遊具については、今、しっかりと対策をするよう指示をしているところ。今後は、このようなことがないよう、しっかりと最初の方の段階から指示をしたいと思っている。 花火まつり等イベントを通して、町民がよりコミュニケーションをとる、あるいはお互い話し合いができる場を作っていく。また、そうしたことを町としても活用していくというご提案については、しっかりと考えていきたい。